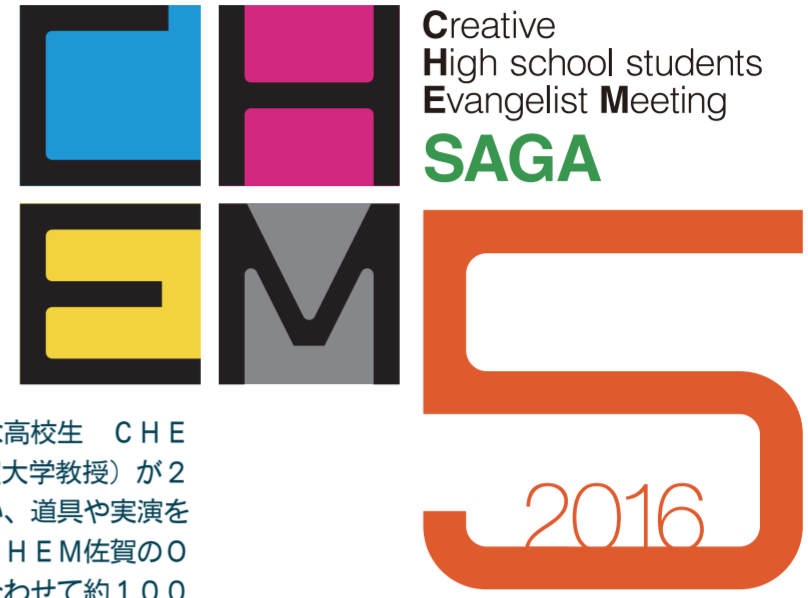


いたんだ! こんな高校生



主催：CHEM佐賀実行委員会
特別協賛：学映システム
協賛：ジッパー

県内で活躍している高校生が活動を発表し広く知ってもらうイベント「いたんだ! こんな高校生 CHEM (ケム) 佐賀5 2016」(CHEM佐賀実行委員会主催、実行委員長・中村隆敏佐賀大学教授)が2月14日、佐賀市の佐賀JA会館で開かれた。6組の個人・団体がプレゼンテーションを行い、道具や実演を取り入れながら発表した。特別ゲストはアプリ甲子園に出場した愛知県の羽柴彩月さん。CHEM佐賀のOGでファルコナーの石橋美里さんや佐賀西高校演劇部の田中美咲さんも駆けつけ、観客も合わせて約100人が集まった。

パネルディスカッションでは「ものづくりで大切にしていること」「活動をはじめたきっかけ」などをテーマに熱い思いを交わした。普段は関わりのない他校の活動を知り、新たな視点や課題、生徒同士の交流が生まれた有意義な時間となった。

取材・執筆：藤原織香 ■紙面デザイン：松尾容子

プレゼンに込めた思い 広がる、つながる



プレゼンのトップバッターを務めたのは有田工業高校の漫画研究部。昨年、高知県で行われた「まんが甲子園・まんが王国」で土佐推進協議会会長賞・全国5位の成績を収めた。発表されたテーマに沿って、時間内にB2サイズのパネルを描きあげる大会で、来年は優勝を目指したいと意気込んだ。

18代高校生平和大使の鶴田晴子さんは、平和大使を目指したきっかけや署名活動、平和体験などを紹介した。「国境を超えても平和を願う気持ちはみんな同じ」-たくさんの人と出会った鶴田さんの発表からは、真実を伝承しなければならぬという強い意志が伝わった。

唐津東高校の科学部は、水ロケットのアジア大会や缶サット甲子園への出場など、実験や挑戦についての成果を報告した。初の国産グループフルーツ「さがんルビー」の周知と地域貢献を目指してはじまった商品開発では、地元企業からの支援を受けながらクラウドファンディングに挑戦し、目標金額を達成。産官学と地域との連携も実現し、地域貢献の第一歩を踏み出す中で地元のあたたかさを感じている。

県教委主催の「ICT活用プレゼン大会」で最優秀賞に輝いた佐賀農業高校の「ポヌール君」は、学校で経営しているケーキカフェ「サノ・ポヌール」の運営体験を発表した。「お客様アンケート」を分析して、あいさつや笑顔など接客の向上と、営業時間やアクセスマップなどHPの情報の充実を課題にあげ、改善に取り組んだ。楽しみながら、利用者にとって心地よい空間を提供できるよう工夫している。

昨秋、三重県で開かれた全国介護技術コンテストで日本一に輝いた嬉野高校の社会福祉系列は手話の自己紹介からスタート。コンテストでの様子を動画も使って紹介した。利用者にあった介助方法を即興で組み立てていくため、事前に30パターンもの介助方法を想定し、何度も練習した。声の高さや大きさなど、思いやりの心

を持って接することの大切さも教えてくれた。

佐賀東高校の演劇部は、劇を交えながらの発表で観客を引き込んだ。「活動の中で一番大切なのはミーティングの時間」-NHKのドキュメンタリーに出演した際の映像では、泣きながら役作りをするメンバーの姿が映し出される。あえて父子家庭の役や親が入院しているなど似た境遇にある役を演ずる先生と、それを乗り越える部員たち。思いをぶつけ合いながら作り上げられた劇を実際に披露し、会場をふるわせた。

県外からの特別ゲストにはアプリ甲子園に出場した愛知県半田高校の羽柴彩月さんを招いた。自作した学習支援アプリ「STUGUIN」について紹介。日常の中にある疑問や不便なことから問題意識を発掘することを楽しんでいる羽柴さんは、「意義のある目標を見つけること」をモットーに日々開発に励む。スマートフォンが勉強の助けになっていたことから、勉強時間の計測やデータを可視化するアプリを開発。プレゼン後、参加者が早速インストールしていた。

パネルディスカッションでは、発表では聞けなかった部分を掘り下げて熱い意見を交わした。「何かを作るときが一番大切にしていること」「活動を続けて本当によかったと思った瞬間」などについて語り合い、参加者同士での質問では「現在の活動へ行き着いたきっかけ」に注目していた。

高校生の発表で高校生の心が動いた。県内外、国外でも活躍している高校生の発表だけあって刺激は強く、参加者が「知らない分野の活動を知れてよかった」と口をそろえた。まったく関わらないと思っていた分野が繋がった瞬間、なんらかの化学反応がはじまっている。ここで得た成果物を生徒たちが今後どう生かしていくのか期待が膨らんだ。

特別協賛 株式会社 学映システム
http://www.gakuei.co.jp

こどもの夢をお手伝いします

Doctor

scientist

System engineer

新時代を担う 子どもたちに 最適な教育環境を



教育ICTソリューション
教育現場の情報化に最適なハードウェア、ソフトウェア、これらを活用するためのソリューション全体の企画提案、導入、設定、保守等をご提供いたします。



教育機器ソリューション
学校で活用される各種教材や消耗品、プロジェクターなどの視聴覚機器、顕微鏡などの理化学機器、実験台や調理台、各種備品やプリンタなどのOA機器。これらの運用を含めたソリューションの提案から導入、メンテナンスまで、トータルでご提供いたします。



ICT活用サポート
教育の情報化によって導入された、様々なハードウェアやソフトウェアなどの各種操作研修会の実施やインストラクターの派遣から、ICT支援員の配置、教育情報化コーディネーターの配置など、より良い活用へつなぐようにサポートいたします。



株式会社 学映システム
ホームページアドレス <http://www.gakuei.co.jp>

■佐賀本店 / 佐賀市鍋島町大字森田902番地 TEL0952-34-5280 / FAX0952-34-5285
■武雄支店 / 武雄市武雄町大字永島15877番地1 TEL0954-22-4124 / FAX0954-22-4109
■唐津営業所 / 唐津市和多田用尺12番39号 TEL0955-70-2270 / FAX0955-70-2277
■久留米営業所 / 久留米市東合川18丁目8番21 TEL0942-41-4315 / FAX0942-41-4317

